

野生動物に注意！

近年、土岐市内において野生動物（イノシシなど）の目撃例が増えています。
人身事故防止のため、下記のことには注意しましょう。

野生動物と出会わない

◆音で知らせる

鈴やラジオなどの音が出るものを身につけ、人がいる事を野生動物に知らせましょう。

◆早朝や夕方は特に注意

野生動物の行動が盛んな早朝や夕方は、里山周辺での散歩やジョギングは控えましょう。

◆2人以上で行動

山菜取りなどで山に入る際は、2人以上で行動しましょう。



野生動物を寄せ付けない

◆草かりによって隠れ場所をなくす！

草むらやヤブは刈払って見通しを良くし、隠れ場所をなくしましょう。

◆エサになるものを野外に放置しない！

寄せ付ける原因となるので、生ゴミを野外に放置しないようにしましょう。

果樹の実（カキ・クリ等）は残さず、採取しましょう。



もし、出会ってしまったら

◆ゆっくりと後退

決して大声を出さず、動物の方を向いたまま、ゆっくり後退し距離をとってください。

イノシシ

本来警戒心が強く、臆病で注意深く、人前には姿を現わさない動物ですが、最近はエサを求めて昼間でも目撃情報が増えています。

- ・雑食性（人間が食べるようなものはすべて。イモ・たけのこ・イネの穂など植物食がメインだが、昆虫の幼虫やネズミなどの小動物も食べる。）
- ・落葉広葉樹林や茂み、耕作放棄地や竹林など食料になるものが豊富にあり、身を潜められる場所を好む。
- ・「猪突猛進」はパニックになって逆上したときの姿
- ・鼻は犬の4倍。鼻先は敏感で電気刺激には弱い。
- ・鼻で50～60 kgの重さを持ち上げ動かすことができる。
- ・体毛は太く剛毛。通電しないので、体が電気柵に触れても平気（体で押し上げて侵入することを覚えられると効果がなくなってしまうため、年中通電させるか不要な期間は撤去しましょう。）。

シカ

- ・草食性。昼夜を問わず2～3時間採食、2～4時間反芻をするというリズムを繰り返す。
- ・警戒心が強く、人影を見るとすぐに逃げ出すが、追って来ないとわかると逃げ出さない図太さをあわせ持つ。
- ・助走せずに約1.5m以上の障害物でも飛び越える。ただ、防護柵などの障害物は隙間や下をくぐり抜けることが多い。